



発行 東京片貝会  
埼玉県新座市栄1-5-5  
(〒352-0014) 阿部修次  
電話 0484-78-4494

### 第43回 東京片貝会総会御案内

期日 平成14年6月30日(日)午後一時  
会場 池袋 かんぼヘルスプラザ東京

今年の桜の便りは早く、故郷も四月十一日にはほ満開となり、そのまま数日間継続し、大勢の観桜客で賑わった便りが届いています。皆様のお近くは、いかがでしたでしょうか。第43回の総会を、左記の通り開催致します。本年も郷里から、お客様をお招きします。

お友達を誘いあつて、どうぞ多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

#### 記

- 一、日時 平成14年6月30日(日)午後一時(正午より受付)
  - 二、会場 かんぼヘルスプラザ東京  
東京都豊島区東池袋4-7-7 ☎03(5952)6881
  - 一、会費 七、〇〇〇円
- お問い合わせ 返信は6月15日(土)までに届くようお願い致します。

#### 東京片貝会 会費

会費は、年二〇〇〇円とさせて頂いております。  
会報と同封されます郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願いします。  
母校を励ます会のご支援は、三面をご参照下さい。

#### 会の動き

理事会 12/1  
於：かんぼヘルスプラザ  
阿部会長以下18名  
一年の反省と新年会の話し合い。

#### 常任理事会

6/23  
於：かんぼヘルスプラザ  
阿部会長以下5名

#### 新年会の段取り

新年会 1/27  
於：かんぼヘルスプラザ  
出席者 76名  
県人会オケサアートの会出演  
二面参照下さい。

#### 片貝新聞休刊

2/27  
新聞社主吉原氏に感謝状

## 片貝新聞 休刊

8年前に発刊されて(月刊)東京片貝会にも故郷片貝のニュースを無料で配布して頂き我々東京片貝の事も数多く片貝で紹介して頂いた「片貝新聞」が休刊になりました。片貝で行なわれた「社長の吉原芳朗氏を労う会」(出席者27名)に東京片貝会より安部会長が感謝状をお届けに出席しました。

片貝新聞は、一九九五年(平成七年)七月一日に発刊された。創刊号の「主張」には、片貝地域の情報を提供し現実を直視し、視野を広め、環境のより良い生活の向上を図るとともに、人材の育成を目指すとして述べられている。  
創刊号から今回の休刊まで80号、足かけ8年毎月一回発刊されていた。  
地域のこと細かな情報と、片貝小、中学校の転出、赴任される先生からの一言、地元の有名人、時の

人などを紹介する「ビューマンウォッチング」。最初の人は、酒井中学校校長先生、最後の80号は、片貝支所の品田茂支所長、東京片貝会の阿部会長は10号に登場された。  
また、赤ちゃんを紹介する「ハローベイビー」も好評で最初の登場は、平成七年一月生まれで、もう小学校の生徒さんである。  
このようなユニークなコーナーもあり、多くの町民から愛され続けていた。  
第80号の「かたかい春秋」に「片貝人も随分」ものを言う「ようになったと思っ

ている。氏名を明記して、堂々と意見を述べるようになった。...と書かれている。大勢の人達が、早目の再刊を待っている。



### 片貝10大ニュースの歩み 25年間トップニュース

- 片貝町の10大ニュースは、JA片貝町が毎年町民の投票からまとめている昭和52年から、25年間のトップニュースを片貝新聞の掲載から紹介する。
  - 77 市立片貝保育所の開設
  - 78 浅原神社修復工事竣工
  - 79 ふるさと会館モデル事業
  - 80 真昼の三尺玉打ち上げ
  - 81 小学校北運動場の改築
  - 82 世界最大三尺三寸玉
  - 83 道徳教育研究全国発表会
  - 84 魚沼線廃止
  - 85 四尺玉打ち上げ成功
  - 86 県道の街路灯つけかえ
  - 87 小学校改築工事始まる
  - 88 片中バスヶ県大会優勝
  - 89 小学校新校舎ブルー完成
  - 90 本田善治氏勲四等瑞宝章
  - 91 三屋裕子さん実技と講演
  - 92 中学校校舎移転改築工事
  - 93 片中バスヶ全国大会出場
  - 94 中学校体育館竣工
  - 95 佐藤家跡都市公園へ整備
  - 96 「デイホーム片貝」発足
  - 97 中学校創立50周年記念
  - 98 関広一氏市長就任
  - 99 本田善治翁胸像建立
  - 00 JA片貝町低温倉庫完成
  - 01 加来陽子ふれあいコンサート
- 思い出のニュースはあるでしょうか。

楽しく、みんな

新年会 開催

平成14年1月27日  
かんぽヘルスプラザ東京

新年祝賀会は、雨降りりて寒い日であったが、会員69名に故郷から浅田正平同窓会会長名塚伝統芸能保存会事務局長福原小学校長をお迎えし盛大に挙行された。

前半司会の大塚順一さんの発声で全員で新年の挨拶を行い、黒崎副会長の開会の辞で開催された。

阿部会長の挨拶では、「昨年は皆様の協力で滞りなく行事を完了した。役員会で



婦人部の方々へ記念品贈呈と、じよんのび会の一時期止が決まった。片貝からの御参加、オケサアートの皆様のお出を感謝します」と結ばれた。

続いて、母校を励ます会の藤塚会長から、「本年度協力者133名、金額28万円の報告、お礼と会が続く限り行なっていきたい」と報告された。

今回始めて、婦人部の功労者九名に記念品が贈呈された。  
ご来賓の名塚氏、浅田氏から、片貝の近況と励ます会のお礼などの挨拶を頂いた。

懇親会は、大塚国夫氏の司会で、最年長の芝五郎氏の乾杯の音頭が始まった。  
オケサアートの素晴らしい越後の民謡があり、打ち解けてリクエストが出たり、一緒に歌ったり、更に得意のカラオケ大会と盛り上がった。中でも「ああ上野駅」は有志で2回も歌われたが、全員で歌う「木遣り」で最高潮に達した。

松下利夫氏の中締め、和進会の皆様による万歳三唱、最後に本田秀幸氏（永遠会）の心から故郷を思う閉会の

挨拶があり、再開を約束し、楽しい新年会はお開きとなった。

【総会出席者氏名】(敬称略)

【昭和21】10  
芝五郎、山口三郎、芋川とし

【昭和11】20  
佐藤ヨシ、小宮秀夫、安部源一、大矢常吉、山田松次郎、山田チエ、松下利夫、山口光雄、吉原俊六、上田益美、小宮幸雄、浅田栄三、佐藤昭六、気田登美、江澤キヨ、石井ユリ、中島ヨシ、庄司とろ、西山和子、三重堀清

【昭和21】30  
安達弘男、安達和三、吉原美代治、神林勝夫、高野賢、清水敏雄、黒崎晴郎、新野次朗、安部修次、川合ツヤ、小宮きよ、黒崎正、大塚順一、忍足良子、小宮敏江、浅田義男、神林佳子、豊島文枝、安達太一、中村恵美子、本田文夫、長岡利夫、小野塚茂、横尾ミチエ、石上俊夫、石川春子、吉原勉、黒崎隆、吉原安、鯉島昭雄、木下伸、安達弘之、

【昭和31】43  
藤塚悟、小宮善興、大塚国夫、黒瀬良子、小野塚清、芝満男、安達弘、松井京子、吉原敏明、鈴木映子、本田秀幸、小林直子、芝強、内藤富美子

【ゲスト】 山田純夫

ご祝儀・ご寄付 お礼

ご祝儀・ご寄付を頂きました。有り難うございました。

(二)祝儀 (敬称略)

浅田正平、名塚孝一、福原博夫

(ご寄付) (敬称略)

石黒ミス、小川茂雄、芝五郎、黒崎孝造、小宮光、小宮繁、阿部修次、新野次朗、松田フミ、大矢保(岸和田市)

【婦人部 功労者】(敬称略)

石黒ミス、山口ヨシ、日下部政子、芋川とし、丸山春、佐藤フミ、田口タズ、大内登代、馬場キイ

会員短信

総会の御案内のお返事で、出席できない方々から沢山の便りをお頂きました。

是非次回のご出席をお待ちしております。

石黒 ミス (大15卒)

ふるさと便り、なつかしく読ませて貰いました。どうもありがとうございます。足が悪くて遠くへ行けません。山口 ヨシ (昭2卒)

本日は孫娘の結婚式の為残念ながら欠席させていただきます。

念ながら欠席させていただきます。

丸山 春 (昭5卒)

何時も会のためお励み頂き有り難う存じます。会場が遠くなり足が悪いので出られませんが、御身御大切に。

佐藤 彦一 (昭8卒)

体調が悪く残念ですが欠席します。皆様宜しく。

広川 久美子 (昭12卒)

今年春に肺炎を患いその上に、夏の暑さで大変弱ってしまいました。しばらく動けなかつたら足が弱り、階段は杖が欲しい状態です。

和田 豊次 (昭12卒)

いつも会報有り難うございます。少し振りに片貝まつりに行きました。会の発展を祈ります。

小林 愛子 (昭21卒)

御案内有り難うございます。来年も出合いができますように。御身御大切に。

遠藤 信子 (昭23卒)

今月九日兄の三回忌も済み、賀代ちゃんも元氣です。6月には、一緒に湯沢へ行ってきました。

本田 善一 (昭26卒)

母94才で世界し喪中の新年です。新年懇親会には欠席させていただきます。

安藤 真理子 (昭26卒)

寒中御見舞い申し上げます。いつも会報有り難うございます。御盛會お祈り致します。

吉原 武夫 (昭28卒)

いつも会報ありがとうございます。

本田 十三雄 (昭30卒)

いつも会報が届くのが楽しみです。本当に有り難うございます。

天野 八重子 (昭39卒)

【住所表示変更】

昭和14年卒 田中 サト  
〒272-0033 市川市市川南3-12A 309  
☎047-326-3441

昭和21年卒 新野 幹郎  
〒224-0051 横浜市築地区富士見が丘5-4  
☎045-943-8858

昭和25年卒 佐藤 尚巳  
〒283-0046 東金市上谷3439-121  
☎0439-55-1763

【御逝去】

謹んで哀悼の意を表します。  
平成14年3月31日 小宮竹次 昭和6年卒

東京片貝会 会計報告書

自平成13年4月1日 至平成14年3月31日

Table with financial data including '前年度繰越', '内訳', '収入合計', and '支出合計'.

【住所表示変更】

昭和14年卒 田中 サト  
〒272-0033 市川市市川南3-12A 309  
☎047-326-3441

昭和21年卒 新野 幹郎  
〒224-0051 横浜市築地区富士見が丘5-4  
☎045-943-8858

昭和25年卒 佐藤 尚巳  
〒283-0046 東金市上谷3439-121  
☎0439-55-1763

【御逝去】

謹んで哀悼の意を表します。  
平成14年3月31日 小宮竹次 昭和6年卒

# 母校を励ます会・報告

## 温かいご支援ありがとうございます

母校を励ます会は、皆様の温かいご支援を頂き、小・中学校への図書券の贈呈と同窓生による講演会の開催を行っています。今後とも、温かい母校への励ましを宜しくお願い申し上げます。活動に関するご提案もお待ちしております。

### 片貝中学校からの便り

片貝中学校山田校長先生から、図書費で購入された書籍の紹介、生徒さんの活動状況とお礼の便りを頂きました。

図書委員会の生徒さんは、パソコンの技術を勉強しながら「図書室だより」を発行しています。その中で購入図書辞書形式の「ポプラディア」(全12冊)が紹介されています。来年から始まる「総合的な学習の時間」の調べ学習に活用されることとです。

### 「母校を励ます会」

基金協力者氏名  
(敬称略・順不同)

- 小川茂雄、宇川とし、山口三郎
- 大矢常吉、松下利夫、浅田栄三
- 小宮幸雄、庄司とう、山口光雄
- 安達和三、安達弘男、阿部修次
- 新野次朗、神林勝夫、清水敏雄
- 松田フミ、吉原三代治、忍足良子
- 黒崎正、豊島文枝、小野勇、中村恵美子、木田文夫、石上俊夫、新沢須美、横尾ミチエ、安達実、石川春子、吉原勉、黒崎清、黒原宏
- 大塚国夫、小野塚清、黒瀬良子
- 小宮善興、芝満男、藤塚悟、高波国男、木田秀幸、松井京子、芝強、内藤富美子

### 母校を励ます会会計報告書

自平成13年4月1日 至平成14年3月31日

前年度繰越 1,062,147.	図書費 200,000	図書券 10,000	社会費・懇親費 16,500	交通費 20,000
内訳 (定款貯金) 780,000.	支出合計 246,500.	次年度繰越 1,101,355.	内訳 (定款貯金) 780,000.	(郵便貯金) 321,355.
(郵便貯金) 282,147.	収入合計 1,347,855.	1,347,855.	1,347,855.	1,347,855.
基金協力(133名) 285,500.	通算会計(昭和58.5.1~平成14.3.31)			
郵便貯金受取利息 208.	基金協力(総1925名) 5,527,700.	寄付図書(19回) 4,200,000	講演会(18回) 240,000	公費補助 35,000
収入合計 1,347,855.	寄付 35,000.	印刷・郵券 82,684	交通費 125,000	図書費 5,738
1,347,855.	受取利息 263,180.	収入合計 5,825,880.	支出合計 4,724,525.	次年度繰越 1,101,355.
1,347,855.	5,825,880.	5,825,880.	5,825,880.	5,825,880.



01クリスマス企画

「これからの会」の皆さん、御活躍を願いつつ心から敬意を表します。  
(記(阿部))

時は四月十四日、例年ならば、惚けた桜の花もあるはずなのに、今年は葉っぱばかり。午後四時半、千住大橋の「入舟」さん前に、十七名が集まった。

船着場は、何と山緒ある史跡の地、その昔、松尾芭蕉が関東、奥州、北陸への凡そ150日間の旅に出発した場所とのこと。

人数にしては大きな船で、一回、日頃狭い場所飲んでいるせいか「でっかいの」と感心しきり。早速乗り込むと、別に目的のある旅でもないのに、ゆっくりするかと思えば、早くも「越の寒梅」が現れ「乾杯しようて」。酒を注ぎ回る手際の良さもさることながら、早くもゴー。

「やっぱ、うまいの」

船は隅田川をうらら、うらら。川の中からみる景色も、またおつなもので、結構デッカイビルも目立つがホームレスさんの四角い青いお家も整然と並び、何となくマッチしている。

屋形船自慢の揚げたてのテンブラは、若いお兄さんがタイミング良く次から次へと運んでくれる。新潟料理を持参のお姉さんもいて、テーブル上は超豪華。アルコール類は、何でもありで飲み放題。ひっくり返って飲んでも、寝転がって飲んでも：春うらら。

船は、隅田川の橋を次々と通

り、お台場に到着。薄暮のお台場は我ら若者達の天国。

レストラ、ホテル、ゲームセンターの光景は外国の雰囲気。乗っているのは屋形船。余りにすることもなく、カラオケが大盛況。少々揺れながら、歌うのもまた楽しい。中には踊り出す人も居る。

船は、いつしかUターン飲んで歌っていたら、そんなことも春うらら。気がつけば辺りは真つ暗。いつしか浅草の灯も見えて、無事船着場に到着。何とも賑やかに盛り上がり春うらら。七時半予定通り解散となった。来年またやるかどうかの話は忘れてしまった。(Y・K)

【出席者氏名】(敬称略)

小宮幸雄、吉原俊六、浅田栄三、吉原三代治、安部修次、黒崎正、大塚順一、小宮秀雄、藤塚悟、芝満男、小野塚清、小宮敏江、中村恵美子、石川春子、内藤富美子、小宮善興、平石和子

「越の寒梅」が現れ「乾杯しようて」。酒を注ぎ回る手際の良さもさることながら、早くもゴー。

「やっぱ、うまいの」

船は隅田川をうらら、うらら。川の中からみる景色も、またおつなもので、結構デッカイビルも目立つがホームレスさんの四角い青いお家も整然と並び、何となくマッチしている。

屋形船自慢の揚げたてのテンブラは、若いお兄さんがタイミング良く次から次へと運んでくれる。新潟料理を持参のお姉さんもいて、テーブル上は超豪華。アルコール類は、何でもありで飲み放題。ひっくり返って飲んでも、寝転がって飲んでも：春うらら。

船は、隅田川の橋を次々と通



第20回  
母校を励ます会講演会  
講師(内定) お知らせ  
吉井新平氏(つどいの会)  
山梨大学教授

もみの木タイム片貝小学校便り  
平成14年4月12日  
新年度を迎え、教職員の出、送る人7名、転出8名の人事異動。職員22名の一言挨拶。新入生46名で全校280名、頑張れ片小。

現在片貝で発行されている情報誌の一部を紹介する  
窓友「片貝中学校同窓会報」  
〇〇年〇月第〇号  
今回は「片貝同窓会」の「ぶみ」のタイトルで、第51回卒業までの全同級会の会名・由来などが、覧表で載っている  
会報きょうぎかい「片貝同級会」  
平成14年4月14日  
新年度の協議会役員紹介、新年度の抱負が載っている。伝統芸能保存会々長に重堀正三氏に替わり、名塚孝一氏が、公民館長に吉原幸幸氏に替わり、四之町の相崎定夫氏が就任された。

PTAだより「片貝中学校PTA」  
平成14年3月8日第81号  
卒業生特集で思い出、送る言葉が満載。特に「親から子へのはなむけ」の言葉には心打つものがある。

# ふるさと・は・今

H13年12月から  
H14年5月まで

## 母校近況

### ■小学校

学童相撲大会 9名が入賞

市内学童相撲大会が11月4日、八十数名の選手が参加して開催され、片小では3年生の安部真之介君が2位入賞し9名が入賞した。

### ■中学校

バレエ・バスケット活躍

近県女子バレエ三位入賞

片貝町体育協会会長「四尺玉カップ」争奪第八回近県中学校女子バレエボール大会が11月23・24日開催され、片中は第一回(三位)以来、久々の三位入賞を果たした。近県から、6県13校、県内15校参加の大きな大会である。

### 女子バレエ中越大会優勝

中越地区強化練習会大会は28チームが参加して開催され1セットも落とすこと無く、優勝杯を獲得した。

### バスケット中越新人大会で三位

小学校低学年を主な対象として、12月15日公民館で「クリスマス特別企画」を開催した。約40名の元気な子供達が集まり、紙芝居、映画、ゲームなど沢山の内容で盛り上がり、楽しい一時を過ごした。

### 新一年生が入学

小学校では、4月8日入学式を行なった。今年の二年生は男子28名、女子18名の計46名。昨年とほぼ同数であるが、男女の人数が同じ比率で逆転している。

また、市内の新一年生全員に安田火災など四社から、交通事故障害保険付の「黄色いワッペン」が贈られた。

## イベント

JA13年度十大ニュース

JAがまとめた大晦日に発表されたが、一位は「加来陽子ふれあいコンサート」だった。11月21日、新進ソプラノ歌手の加来さんと若手ギタリスト西野雅人さんを招き開催された「ふるさと」など日本の調べで430名の観衆を魅了した。



### 町裏で全焼火災発生

11月24日午後、町裏の大矢敏之さん宅から出火木造二階建てを全焼した。ケガ人などはなかった。

### 八島ふれあいセンター竣工

八島町内会は、老朽化した八島クラブを取り壊し、木造二階建てのセンターを完成させた。工費は約千五百五十万円で補助金と町内全戸の積立て金で賄った。



### 仲友会 還暦記念に

保育園へステージ幕を

平成13年に還暦を迎え、豪華な花火を奉納した仲友会は記念行事の一環として、片貝保育園にステージのバック幕を寄贈した。

### 浅原神社二年詣り大混雑

除夜の鐘代わりの一〇八発の花火ですっかり有名となり近郷からの参拝者も多く最高時は山門人口まで列が続いた。縁起物は早々に完売となったが、賽銭は横バイとのこと。米寿の皆さんおめでとう

### JA片貝町では1月8日管内の二十三名家を一軒ずつ訪問し、長寿を祝った。今年は大正4年生まれの方で、男性六名、女性十七名。

塞の神 雪と光と花火と  
市内最大を自認する賽の神行事は、十四日昼夜にわたり、浅原神社境内を中心に多彩な催しで展開された。参道の六本のロウソク、福寿会の福もちまき、照

つぐみ会のホ  
ンヤラ洞(写真)と高さ十メートルの塞の神の大火柱。今年一年間の無病息災を祈願した。



### の小船井チイさんによる「女性を持つ感性と元気の出る知恵袋」を約130名が聴講した。

屋敷に消防センター完成  
片貝地区消防施設「片貝コミュニティ消防センター」の竣工式が屋敷の同センター前で行われた。今まではヶ所に分散配置されていた消防車両を一ヶ所に置くことと、場所的な条件から到着時間の短縮を見込んでいる。



### 片貝スポーツセンター大人気

冬季間は月一千名以上も

片貝スポーツセンターは、片貝中学校が移転新築して使用しなくなった体育館の老朽化した床をほぎ取って、人工芝を入れ室内グラウンド化してから利用者が急増。長岡などの市外からの利用が多いテニス、ゲートボール、野球などに使われ、市の関係者から注目を浴びている。

### JA片貝町、小千谷市

合併協議会発足

JA小千谷市と片貝町は、平成十五年三月合併を目途に合併協議会発足を開催、合併に向け具体的スタートを切った。JA自体の生き残りをかけ、大きな器を求められ「行政・JA」の気運が高まっていた。

### 小船井さん講演 JA女性部

三月三日、JA片貝町女性部通常総会の記念講演会を一般公開で開催。(株)船業会長

### 安達清二さん(片貝)御逝去

安達さんは、片貝に伝わっている木遣りトシヤギリを残そうと伝統芸能保存会を立ち上げ初代会長として活躍され又浅原神社の社務長等片貝町の発展に尽力されました。

現在、東京片貝会の総会と新年会で流されている木遣りのテープは、安達さんより贈られたものです。心から御冥福をお祈り致します。合掌 阿部

### あとがき

新年会のご案内のご返事で会報を楽しみにしておられるとの声を多く頂きました。役員一同、ご期待に添いますよう頑張るつもりです。

私事ですが、二月と四月に母と父を亡くしました。皆様のご健康を祈念致します。(小宮)